



～ポジティブな気持ちで～

校長 山岸 英紀

心配された寒波の影響は小さく、ほっとしているところです。しかしながら、青森の友人から届いた年賀状には、降り続く雪に「もうへとへとだ」と書かれていました。各地の被害が最小限にとどまることを祈るばかりです。

始業式の朝、廊下で会った1年生に、「明けましておめでとうございます！」と元気な声で挨拶してもらい、とても気持ちのよい3学期の始まりとなりました。先週は、書初大会、漢字・計算大会、実力テスト、復習テストなど、子供たちは早速スタートダッシュしています。インフルエンザが猛威を振るっていますが、体調管理には十分気を付けて過ごしてほしいと思います。

さて、今回の始業式では、「言葉は現実をつくる」という言葉を用いてポジティブな気持ちで取り組もうと伝えました。新しい一年のスタートに、子供たちはそれぞれ目標を立てたことと思います。でも、達成する過程では、うまくいかないこともあるでしょう。そんなときはどんな言葉を思い浮かべたり、口にしたりするのでしょうか。私たち大人もそうですが、「無理」「意味がない」など、ネガティブな言葉を使うことがないでしょうか。「無理」と思うと、気持ちもどんどんネガティブになり、それが現実になるし、できないことを何か他のせいにしても、結果は自分に返ってきます。逆に「どうしよう」「できない」と不安になっても「大丈夫！」とか「こうしたらできる」というポジティブな言葉を思い浮かべると、自然に元気が出てきて目標も近付いてくるものだと思います。「言葉は現実をつくる」のです。私は、「大丈夫！」という言葉が大好きで、苦しいとき、困ったときなどには、よく自分に言い聞かせます。

子供たちには、困難さを感じたときだけでなく、日頃からポジティブな言葉を思い浮かべたり、使ったりして生活することを心がけてほしいと思います。きっと、一人一人の立てた目標が近付いてくると思います。

3学期、9年生にとって集大成、そして進路に向かう大切な学期であり、1年生～8年生にとっては、1年間のまとめと次の学年に向かう準備の大切な学期です。一日一日をポジティブに、そして大切に過ごしてくれることを願っています。



1/8～10書初大会、計算・漢字大会、実力テスト、復習テスト ～練習や復習の成果を発揮しました～

